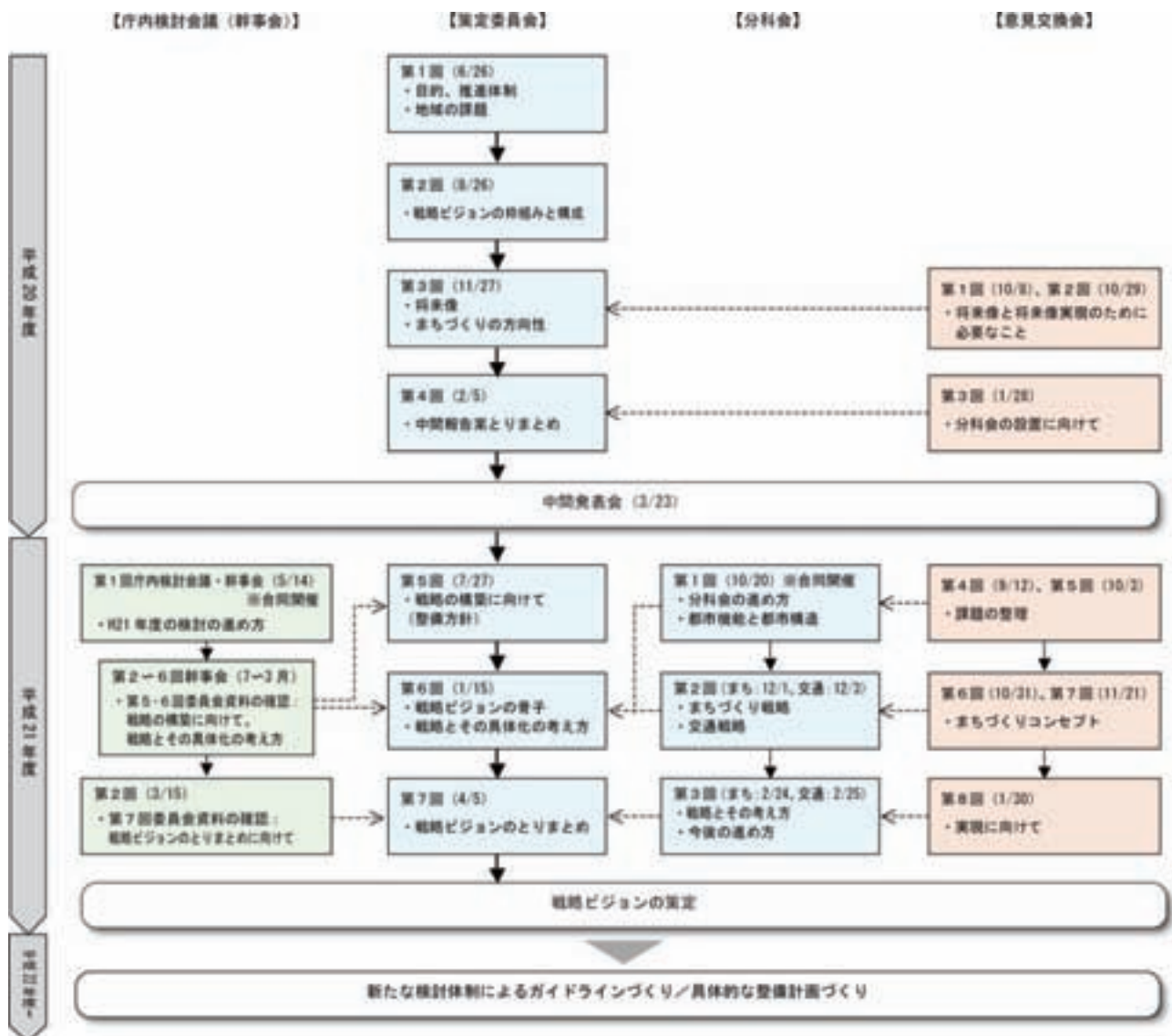


6. 戦略ビジョン策定までの検討経緯

6. 戦略ビジョン策定までの検討経緯

- ・平成20年6月に第1回策定委員会を開催し、その後2カ年にわたり戦略ビジョンの検討を行った。
- ・平成20年度は策定委員会を4回、意見交換会を3回開催し、その成果を中間報告にとりまとめた。
- ・平成20年度の成果を受けて、平成21年度には策定委員会を3回開催するとともに、将来像の実現に向けた詳細な検討を行うために、まちづくりと交通の2つの分科会を設置した。
- ・また多様な関係者が同じテーブルにつき、即地的かつ具体的に議論していただくため、意見交換会をワークショップ形式で開催した。ここで提案されたまちづくりのコンセプトや個別のアイデアは、まちづくりの将来イメージおよび戦略に反映した。
- ・この他に、大宮駅周辺地域のまちづくりを効果的かつ効率的に推進するため、市内の関係部局による市内検討会議（幹事会）を設置し、戦略ビジョンの検討内容の確認および調整を行った。
- ・これらの場で戦略と戦略ビジョンの推進について検討を行い、戦略ビジョンとしてとりまとめた。



1) 策定委員会

●位置づけ

- ・大宮駅周辺地区を政令市に相応しい都心地区に再構築することを目指し、都市開発の具現化を推進する戦略ビジョンの策定に向けて、大所高所から検討を行う場とする。
- ・策定委員会は、原則として公開するものとする。

●メンバー

【策定委員会名簿】 ◎：委員長 ○：副委員長 *：オブザーバー (順不同、敬称略)

◎黒川 洸 (筑波大学名誉教授)	平田 利雄 (さいたま市長特別秘書) ※ ²
○南條 道昌※ ¹ ((株)都市計画設計研究所取締役会長)	浦田 啓充 (さいたま市技監) ※ ²
石原 猛男 (松田産業(株)監査役)	町田 誠 (さいたま市技監) ※ ³
川本 宜彦 (さいたま商工会議所会頭)	*吉村 直樹 (埼玉県都市整備部副部長) ※ ²
久保田 尚 (埼玉大学教授)	*並木 孝之 (埼玉県都市計画課長) ※ ³
佐土原 聡 (横浜国立大学教授)	*栗田 敏寿 (東日本旅客鉄道(株)投資計画部担当部長)
田中 芳樹 ((社)埼玉建築設計監理協会副会長)	*猪森 信二 (東武鉄道(株)経営企画部部長)
渡辺 仁史 (早稲田大学教授)	

※¹：病没のため、平成21年12月まで ※²：平成20年度委員 ※³：平成21年度委員



●開催概要

<平成 20 年度>

<第 1 回>

- 開催日時：平成 20 年 6 月 26 日（木） 18：00～20：00
- 開催場所：大宮ソニックシティ 906 会議室
- 傍聴者数：44 名^{※1}
- 議 事：戦略ビジョン策定の目的と推進体制、大宮駅周辺地区の現況と課題、戦略ビジョンの展開方向

<第 2 回>

- 開催日時：平成 20 年 8 月 26 日（火） 14：30～16：30
- 開催場所：ラフォーレ清水園 白鶴の間
- 傍聴者数：78 名
- 議 事：これまでの状況報告と今後の進め方、戦略ビジョンの骨子

<第 3 回>

- 開催日時：平成 20 年 11 月 27 日（木） 10：00～12：00
- 開催場所：ラフォーレ清水園 白鶴の間
- 傍聴者数：50 名
- 議 事：これまでの状況報告、地域の将来像、まちづくりの方向性

<第 4 回>

- 開催日時：平成 21 年 2 月 5 日（木） 10：00～12：00
- 開催場所：ラフォーレ清水園 白鶴の間
- 傍聴者数：61 名
- 議 事：これまでの状況報告、中間報告に向けて

中間報告（大宮駅周辺地域の将来像、まちづくりの方向性^{※2}）

- ※1 第 1 回は傍聴席をまちづくり団体 14 席と一般 30 席を準備し、一般傍聴希望者が 44 名いたため抽選を行った。第 2 回以降は傍聴席を 100 席用意し、全ての希望者が傍聴できるよう配慮した。
- ※2 まちづくりの方向性については、将来像と併せて再整理を行った。

<平成 21 年度>

<第 5 回>

○開催日時：平成 21 年 7 月 27 日（月） 10：00～12：00

○開催場所：大宮ソニックシティ市民ホール 403・404

○傍聴者数：55 名

○議 事：昨年度の成果と今年度の進め方、分科会等の設置、シナリオの考え方



<第 6 回>

○開催日時：平成 22 年 1 月 15 日（金） 13：00～15：00

○開催場所：大宮区役所 6 F 大会議室

○傍聴者数：40 名

○議 事：これまでの検討経緯、戦略ビジョンの全体構成と骨子、戦略とその具体化の考え方



<第 7 回>

○開催日時：平成 22 年 4 月 5 日（月） 14：00～16：00

○開催場所：大宮区役所 6 F 大会議室

○傍聴者数：48 名

○議 事：これまでの検討経緯、戦略ビジョンのとりまとめ



戦略ビジョンのとりまとめ

2) 分科会

●位置づけ

- ・策定委員会と意見交換会（ワークショップ）の両者に密接に関わる検討の場として、各々の検討内容をふまえた議論を行う。
- ・意見交換会の検討成果をふまえて分科会の検討を行い、戦略ビジョンの実現に向けた取り組みや地域全体のまちづくりの方針などの検討成果を策定委員会に報告する。
- ・意見交換会（ワークショップ）の検討内容や検討状況を把握し、新たに検討すべき点や重点的に検討すべき事項、実現に向けた課題等を補う。
- ・まちづくり全般に渡る議論を有効なものとするために、両分科会の情報共有を図る。

●メンバー

【まちづくり分科会名簿】 ◎：会長、○：副会長 （順不同、敬称略）

◎久保田 尚（埼玉大学教授）	秦 哲美（大宮区桜木地区自治会連合会長）
○桑田 仁（芝浦工業大学准教授）	加藤久美子（大宮区区民会議会長）
肥田野徳春（さいたま商工会議所大宮支所長）	秋山 誠克（さいたま市大宮区長）
栗原 俊明（大宮東口商店街連絡協議会副会長）	渋谷 勉（さいたま市都市局長）
小沼 博之（大宮西口商店街連絡協議会会長）	桜井 武（さいたま市建設局長）
伊藤 巖（さいたま市自治会連合会長）	工藤 隆昭（埼玉県警本部生活安全部生活安全企画課）
橋本 昭司（大宮区南部地区自治会連合会長）	大竹 廣具（埼玉県警本部生活安全部生活環境第一課）
太田 全啓（大宮区中部地区自治会連合会長）	熊谷 知治（大宮警察署生活安全課長）
大野 隆司（大宮区北部地区自治会連合会長）	斉藤 正一（(社)さいたま観光コンベンションビューロー専務理事）

【交通戦略分科会名簿】 ◎：会長、○：副会長 （順不同、敬称略）

◎久保田 尚（埼玉大学教授）	瀧 寿雄（さいたま市都市施設課長）
○坂本 邦宏（埼玉大学准教授）	長澤不二夫（さいたま市道路環境課長）
橋本 久司（埼玉県警本部交通部交通規制課）	佐々木七郎（さいたま市道路計画課長）
齋藤 和洋（大宮警察署交通課長）	中野 英明（さいたま市大宮駅東口まちづくり事務所長）
遠山 敏夫（さいたま市交通企画課長）	伊東 信悦（さいたま市大宮駅西口まちづくり事務所長）



まちづくり分科会



交通戦略分科会

● 検討テーマ

【まちづくり分科会】

- ・ 官民が協力した取り組みの実現を図るための検討
- ・ 各分野に係る議論の総合的な調整

【交通戦略分科会】

- ・ 地域の交通に関する専門的な検討
- ・ 取り組みの実現を図るための検討

● 開催概要

< 第1回まちづくり・交通戦略合同分科会 >

- 開催日時：平成21年10月20日（火） 13：30～15：30
- 開催場所：大宮サンパレス 4Fラフィエネ
- 傍聴者数：17名
- 議 事：分科会の進め方、意見交換会の報告、大宮駅周辺地域の都市機能と都市構造

< 第2回まちづくり分科会 >

- 開催日時：平成21年12月1日（火）
10：00～12：00
- 開催場所：大宮区役所6F大会議室
- 傍聴者数：26名
- 議 事：前回の課題への対応、
まちづくり戦略

< 第2回交通戦略分科会 >

- 開催日時：平成21年12月3日（木）
10：00～12：20
- 開催場所：大宮区役所6F大会議室
- 傍聴者数：25名
- 議 事：前回の課題への対応、
まちづくり戦略、
交通戦略の検討に向けて

< 第3回まちづくり分科会 >

- 開催日時：平成22年2月24日（水）
10：00～12：00
- 開催場所：ラフォーレ清水園 白鶴の間
- 傍聴者数：23名
- 議 事：これまでの検討経緯、
まちづくり戦略の展開、
今後の進め方

< 第3回交通戦略分科会 >

- 開催日時：平成22年2月25日（木）
10：00～12：00
- 開催場所：市民会館おおみや第3・4・5集会室
- 傍聴者数：23名
- 議 事：これまでの検討経緯、
まちづくり戦略の展開、
今後の進め方

3) 意見交換会

■平成 20 年度

●位置づけ

- ・地域戦略ビジョンを検討するに当たり、地元や市民等の意向や考え方を把握するため、参加者と市、あるいは参加者同士が意見交換をする場とする。
- ・現状では個別に活動を行っているまちづくり団体等が一堂に会し、各々のまちへの思いや活動状況を報告し合い、他団体の考えや意見等を共有できる場とする。

●参加対象者

- ・大宮駅周辺地区のまちづくり団体、関心の高い市民等

●実施形式

- ・ファシリテーターを導入した全体討議形式とし、効率的で建設的な意見交換ができるようにする。
- ・参加者の発言は会場全体に見えるように記録係が板書し、言いつばなしの会にならないようにする。

●開催概要

<第1回>

- 開催日時：平成 20 年 10 月 8 日（水） 13：30～16：30
- 開催場所：大宮サンパレス リベルテの間
- 参加者数：46 名
- テーマ：意見交換会など連絡協議の進め方、みんなの地域への思い

<第2回>

- 開催日時：平成 20 年 10 月 29 日（水） 13：30～16：30
- 開催場所：ラフォーレ清水園 白鶴の間
- 参加者数：51 名
- テーマ：大宮駅周辺地域の将来像、将来像を実現するために必要なこと

<第3回>

- 開催日時：平成 21 年 1 月 28 日（水） 13：30～16：30
- 開催場所：大宮区役所 南館 301 会議室
- 参加者数：50 名
- テーマ：まちづくり分科会の設置に向けて

●開催の様子

【第1回】



【第2回】



【第3回】



◇第1回 意見まとめ

1. 地域の現状と課題

- 1) 交通の問題
- 中山道の交通渋滞の解消がこの地域にとっての重要課題
 - ・中山道の交通渋滞により、高層ビル建設が進んでから、まちに「クルマの壁」が広がっている
 - ・高層ビル建設が進んでから、まちに「クルマの壁」が広がっている
 - ・中山道の交通渋滞の解消がこの地域にとっての重要課題
 - 自動車、自転車、歩行者の通行が分離されておらず、安心してまちを歩むことができない
 - 違法駐輪や放置自転車、自転車転倒率の高さなどをふまえて、自転車問題の解決を
 - ・「おかやわい」(おかやわい) 自転車を安全に運転するためのルールを定める
 - まずは交通整理、駐輪・自転車転倒問題に取り組むべき

- 2) 商業の問題
- 大宮駅本側は特殊環境があったり、横で分析されていることから、商業の成立が困難
 - 駅前立地という販売が成り立つわけではないという危機感
 - 東口はポテンシャルを活かしていきたくて、売上に繋がっていない
 - 資料が無くても出店を希望するテナントも多く地権者は生活に困らないが、地権者も高齢化で欲断ちしている

- 3) 防災上の課題
- 建物が老朽化し、濃煙も強く、防災上の課題がある
- 4) 大宮の特つポテンシャルへの期待
- 大宮の特つポテンシャルに期待感がある
- 5) その他のまちの状況
- ワンルームマンションが増えてきている

2. まちの将来像

- 回遊性のある歩きやすいまちに
 - ・「まち歩き」のまち歩き、まち歩きからまち歩きへの回遊性を高める
 - ・「まち歩き」のまち歩き、まち歩きからまち歩きへの回遊性を高める
- 駅前全体を「ゾーン」にするようにしたい
- 幅広い世代の人が住みやすいまちに
 - 人にやさしいまちに
 - 古くからのまちに
 - 駅前などの真似をするのではなく独自の良さを活かしたまちに
 - 積極的に暮かになれるまちに

3. まちづくりの方向性

- 1) 交通問題の解決に向けて
- まちなかから車を排除したまちづくりの検討を
 - ・パークライドなどの手続
 - ・車はまちの時間を消費してはいけない
 - 自転車、自転車の確保 (地下空間の活用)
 - 自転車、自転車、歩行者が安全にスムーズに通行できる空間づくり
 - ・歩行者の通行を優先して、自転車は歩行者の通行を妨げない
 - 町計画には1日 駅へのアクセス手段も盛り込んで検討を
- 2) まちの歴史や資源の保全、活用
- 個性ある資源を活用したい
 - ・老舗ビル、旧店舗を活用して、にぎわいをつくる
 - ・老舗ビル、旧店舗を活用して、にぎわいをつくる
 - 今あるものを最大限に活かすまちづくりを模索したい
 - ・老舗ビル、旧店舗を活用して、にぎわいをつくる
 - ・老舗ビル、旧店舗を活用して、にぎわいをつくる
 - まちの歴史を伝える「かわらないもの」を残したい
 - ・子ども向けの歴史博物館
 - ・まちの歴史を伝える「かわらないもの」を残したい

3) 都市空間のあり方

- 東西に広がるまちづくりを
 - ・東西に広がるまちづくりを
- 広い範囲を対象としたまちづくりの方向性を考えるべき
 - ・広い範囲を対象としたまちづくりの方向性を考えるべき
- 1日 駅を活用して「まち歩き」をつくる

4) その他のいろいろな方向性

- 道の開拓によるまちづくりを
 - ・中山道の開拓によるまちづくりを
- 観光産業の振興
 - ・中山道の開拓によるまちづくりを
 - ・中山道の開拓によるまちづくりを
- 幅広い世代の人が住みやすいまちに
 - ・幅広い世代の人が住みやすいまちに
- 人にやさしいまちに
 - ・人にやさしいまちに
- 古くからのまちに
 - ・古くからのまちに
- 駅前などの真似をするのではなく独自の良さを活かしたまちに
 - ・駅前などの真似をするのではなく独自の良さを活かしたまちに
- 積極的に暮かになれるまちに
 - ・積極的に暮かになれるまちに

4. まちづくりの進め方

- 大宮のまちづくりにほらとの協議・協力が欠かせない
 - ・大宮駅周辺の協議
 - 他の団体や大学との連携、情報共有の仕方について検討すべき
 - ・大宮駅周辺の協議
 - ・大宮駅周辺の協議
 - まちづくりの進め方
 - ・まちづくりの進め方
 - まちづくりの進め方
 - ・まちづくりの進め方

5. 意見交換会の進め方

- 事前に考える時間をとりたいので、会の開催案内ではできるだけ早めにしてほしい
- 市として考えていることや課題として考えていることなど、明確な情報提供を
 - ・市として考えていることや課題として考えていることなど、明確な情報提供を
- まちづくりの進め方
 - ・まちづくりの進め方
- まちづくりの進め方
 - ・まちづくりの進め方
- まちづくりの進め方
 - ・まちづくりの進め方

1. 交通問題の解決に向けて

- 1) 交通問題の解決とまちの賑わいの創出
 - 駅利用者やまちに出すような工夫をして、まちの賑わいを創出したい。
 - ・ユニバーサルデザインやバリアフリーを活用した歩道や自転車道の整備
 - 駅利用者やまち利用者やまちに寄り添うための施策が必要。
 - ・中心街をアンダーパスに
 - 駅前広場(特に東口)は気持ちよく歩ける歩行者優先の緑道と、駅からたくさんの方がまちに出られることを期待。
 - ・中心街をアンダーパスとし、地上部を歩行者専用道に
 - 駅前広場にまやすく、人が集まりやすくなるためには、駐輪場・駐輪場間の解決が必要。
 - ・中心街の1車線を駐輪スペースに

- 2) 歩行者優先のまちづくりの検討
 - まちなかから車を通した歩行者優先のまちづくりを考えるべき。
 - ・駐輪場をまちなかの外側に配置し、駅前バスでつなぐ、時間を自動歩行者専用道に
 - ・トランジットセンターを、コリアンビルディングの敷地
 - ・大宮駅の安全な歩行者専用道確保
 - ・自動歩行者専用道を出して行けるため、歩行者専用道
 - 歩行者専用道については、商店街だけでは人的問題があり困難、警察などの協力が必要としたい。

- 3) だれもが住きやすいまち
 - 身体の不自由な人も住きやすいまちを創出したい。
 - ・ユニバーサルデザインで対応できない、歩道舗装

- 4) 東西連絡の強化
 - 自転車でも東西を自由に往き来できるよりにしたい。

- 5) 問題解決の方法や検討の進め方への提案
 - 今ある道路を活用しながら、交通問題を解決する方法を検討すべき。
 - ・1号線(河原町線、中央線)と西武池袋線(池袋線)の交差点に歩行者専用道
 - 大宮駅公共工事新設することで、まちづくりが進まなくなること懸念。
 - 駅前 導入にあたっては必要性を十分に検討し、民意を聞いた上で判断してほしい。
 - ・付帯設備の整備
 - ・ユニバーサルデザインで対応できない、歩道舗装

2. まちの歴史や地域資源の活用
 - 1) “大宮らしさ”の発信
 - 大宮は緑道のまちである。
 - 大宮駅から眺める緑道の風景は情緒があり、大切にしたい。
 - ・緑道は緑道管理のスペースが確保

- 大宮らしさの発信は永川神社である。
- 緑道も大宮らしさのひとつである。

- 2) “大宮ならではの”まちづくり
 - 大宮は商業都市ということを知りて打ち出すべき。
 - ・商業を打ち出すために、各種文化施設等は周辺の公園
 - 大宮は新たな産業、ビジネスを展開するチャンスがあるまちである。
 - ・小さな日本でも東北地方のふるさと
 - ・駅前広場のビルドアップ(緑道、1号線、中央線、トランジットセンター)の活用
 - ・ユニバーサルデザインなどユニバーサルの活用

- 商業が集まる駅前やサッカー場などの施設を活用したい。
- 緑道沿道沿道や大宮公園、永川神社などは緑道のポイントになる。
- 永川神社は数回に渡った場所である。
- 大宮駅周辺を、さいたま市の中で最も緑豊かなまちにしたい。
- ・歩行者専用道
- 見沼田と大宮駅周辺地域のつながりを検討していく必要がある。

3. 商業と商業をとりまく空間のあり方

- 1) 商業の魅力の向上
 - 大宮駅で地域が分断されて、橋の北側は発展が阻害されてきた。
 - 東口は、両サイドが商業である方が合っている。
 - ・東口をきれいに整備し、まちなか(東口)が活気づくようにしたい。
 - 新たな商業の導入も検討すべき。
 - ・サインの確保

- 商業の対象をどこにおくか考えた上でまちづくりを進めるべき。
- エキナカ商業を制限することは不可能という前提で、商業を考えていく必要がある。
- 1店1店がやる気を持って商業に取り組みることが、お客を増やすためには必要である。

- 2) にぎわいを創出す空間のあり方
 - バザールなどのイベントが出来るような広場が駅付近にあると良い。
 - 歩いて楽しめるようにするために、東口と西口で異なる雰囲気をもつまちにすべき。
 - 東口と西口が一体となり、互いに楽しめるようまちづくりを検討すべき。
 - ・大宮駅の北側、駅前コートが重要
 - ・東西連絡道の整備
 - ・大宮駅による地域活性化の推進(1号線、中央線、トランジットセンター)の活用

- 店舗イートンに来る人が、まちなかで時間を費やしてもらえようという魅力あるまちにしたい。
- ・歩道整備、駅前コートが重要
- 駅前と駅前広場の作り方を十分に検討する必要がある。
- ・ビルとビルを繋ぐための歩道整備(橋)ではダメ
- わざわざまちなかの公共用地に緑道施設を建てる必要はない、別の使い方を考えるべき。

- 3) 魅力的なまちにするための様々な工夫
 - 大宮の名所を巡るウォーキングイベントを開催し、たくさんの人に大宮の良さや資源を知ってもらいたい。
 - 情多のまらのように、百貨店、小さな商店、複合施設など多岐で、歩いて楽しめるようにしたい。
 - 身体の不自由な人もまちをまわれるようにしてほしい。
 - ・駅前バスの整備
 - 交通アクセスを完全に確保してしまおうと、まちに人が全く来なくなるのではという不安がある。
 - 事業員や維持管理員の名づくかからないまちづくり手法を検討する必要がある。
 - まちづくりを進めるにあたって、民間事業者と地元と直接意見交換できるような場があると良い。

4. 大宮のポテンシャルとこれからのまちづくり

- 1) まちの全体像
 - 東口は来る人が快適に通わせるまちにしたい。
 - おいしいものを食べて人と交流できるようなまちにしたい。
 - さいたま市は政府指定都市であり、州都となる可能性を持ったまちである。
 - 大宮は東京に客を取られているので博多や札幌ほどのまらにはない。大宮と博多は住環境が異なるのであまり参考にならない。

- 2) まちづくりの進め方
 - 商業施設などの強さを参考にしながらまちづくりを検討し、適正な商業配置を行った上で魅力付けを進めるべき。
 - 大宮の持つポテンシャルを引き出すには、老朽化した建物の建て替えが必要である。
 - 建物の老朽化に伴うリニューアルの必要性に鑑みて、小さな店舗を大朝にしたまちづくりを進めたい。
 - ・駅前コートによる大朝な店舗の活用
 - 大宮はポテンシャルが高いわざわざ新しいことをやる必要はないが、新しいことをやるほどの余裕もない。
 - 防災意識から、建物の耐震性は早急に確保すべき。
 - 今あるものを活かすことが大事で、これからのまちづくりにはルールづくりが大切である。
 - 住居が主体となったまちづくりを進めるべき。
 - ・まちづくり基本条例の活用
 - ・駅前コートと駅前広場の整備

◇第3回 意見まとめ

1. これまでの検討内容について

- 1) 大宮駅周辺地域の将来像について
 - 地域戦略ビジョンの「将来像」とは、どのくらい先を見据えて考えているものなのか知りたい。
- 2) 都市機軸の課題について
 - 大宮らしい、大宮独自のまちづくりを推進できるような機能が必須。
 - ・「大宮独自のまちづくり」を考えたほうがいい。
 - ・大宮が東京に抱けるもの（1つは北田神社である）。
 - ・大宮を都市に伸ばしていくには「大宮らしさの価値」が大事である。
 - 州都となることも視野に入れて、これからの大宮の果たす役割を考えると大切。
 - ・大宮駅はターミナル駅であり、駅周辺の地域の果たす役割は大きいと考える。
 - ・課題が残る。この課題にどう取り組むかは明確。その対応策の1つは「道州制」が有効と考える。
 - 「さいたま市をどうするか」「大宮をどうするか」とが関連しているように、分岐りにくい。

3) 都市空間の範囲について

- 大宮のまちの中心を軸とすることで問題ないが、他の考え方はないか、きちんと検討すべき。

4) 都市交通の範囲について

- 交通の方針が、道筋の矢印がまちの外部に向いていることに違和感がある。
- 「移動手段の多様化」が具体的にどう行うことなのか分岐りにくい。
- 成田空港へのアクセスや、LRT なども視野に入れて、今後の展開を検討すべき。

5) これまでの検討内容全般について

- 「大宮らしさ」を明確に示せるような言葉でビジョンをまとめてほしい。
- ・ これまでの意見の集約で出された「大宮らしさ」についての意見がとりとけりにされているように残念。
- ・ 「さいたま市の大宮」ではなく「大宮があるさいたま市」として語られるようにしたい。
- ・ 良い「大宮らしさ」として鉄道駅周辺でできたのは良いこと。
- ・ 北田神社と駅直線、駅直線など、まちの古いもの、歴史あるものを「大宮らしさ」として位置づけ、地域戦略ビジョンの中で取り入れてほしい。

- ・ 「大宮ならではの」ものとして「地域の価値」もとりあげられるように。
- ・ 「大宮らしさ」の価値を再確認したい。

■ 「種すべきものを種す」という視点を取り入れてほしい。

- ・ 種まきやまぶくりの方向性を取り上げられている点も大きく、高度な視点にしたい。
- ・ 北田神社や大宮中学校など、その地域の持つ特徴が思い浮かぶようにしてほしい。
- ・ 住む人が変わって、まちの歴史を継いでいくなかで、まち自身も変わってしまふのは残念。
- 大宮には発展性があるということも理解できた。
- 大宮の強みを広くとらえてビジョンを検討していくべき。
- 大宮の抱える様々な課題をどう解決していくかを地域戦略ビジョンの中で検討することが大切。
- これからの大宮を「商業」で成り立たせるのか、州都にすることが住民の本音の幸せにつながるのか、きちんと考えるべき。
- 意見交換会に初めて参加したが、たくさん良い意見が出されていて感心した。
- 外部の人のマイナスの意見も理解した上で議論することも大切。

2. まちづくり分科会について

1) メンバー

- 将来のことを議論するのであれば、若い世代の意見も取り入れて検討すべき。
- 多様な観点から議論できる人がメンバーとなり、よりよい地域戦略ビジョンがまとめられるようにしてほしい。
- どのような関係者がいるのか整理した上で、もれがないようにメンバーを選定してほしい。

2) 検討すべき内容

- 「大宮の商業のあるべき姿」について検討すべき。
 - ・ 道の駅以上の拠点や考えを取り入れて検討してほしい。
 - ・ 道の駅直線を今後どうしていくかの方向性も検討してほしい。
 - ・ 住居、物産館、商業はアンテナルとしての役割が期待できるとも考慮して、今後の大宮の商業について検討すべき。
 - ・ 駅口の商業環境を向上してほしい。

- ・ さいたまアリーナなどのイベントに訪れた人を含め、まちのよさを伝えてほしい。
- ・ 「大宮の発展を促す」という視点を育てる。という点を検討すべき。
- ・ 大宮は「さいたま」にしていって必要がある。そのためにも、都市だけでなく、周辺の環境も整えるべき。
- ・ 大宮の商業を強化するには、軸足を揃える必要がある。

- すでに事業化されているものや市所有の建物や土地の活用方法を優先的に検討・推進すべき。

3) 設置の方法

- 関係権利者と議論する場として、分科会を設置してほしい。
- ツー・マナー別に分科会を設置する場合は、各分科会の検討成果を皆で共有する場も必要では。

3. 地元との連絡協議の進め方について

- 地元との連絡協議は重要なので慎重に進めてほしい。
- 分科会の検討結果の発表の場もあって、不特定多数の人の意見を聞く場は、年度末もあつた方がよい。
- 計画を決定する前に、住民の意見を聞く場を設けてほしい。
- 関係や計画などの情報は、出来るだけ早く、分かりやすく提供してほしい。
- 地元の意見が委員会にきちんと届き、考慮された上で地域戦略ビジョンの検討が行われるような仕組みにしてほしい。

■平成 21 年度「大宮の未来を考えるワークショップ」

●位置づけ

- ・分科会で個別の取り組みやプロジェクト案について検討するために必要な関係権利者や来街者、駅利用者の視点や意見を把握する場。
- ・多様な関係者が同じグループについて議論を行うことで目的や課題、その他情報等の共有を図る場。
- ・図面等を使いながら具体的な議論を行い、実現に向けた成果（方向）獲得に努める。

●メンバー

- ・大宮駅周辺地域のまちづくり団体や自治会関係者、まちづくりに興味のある方
参加登録者数：52 名（グループ討議形式）

●検討テーマ

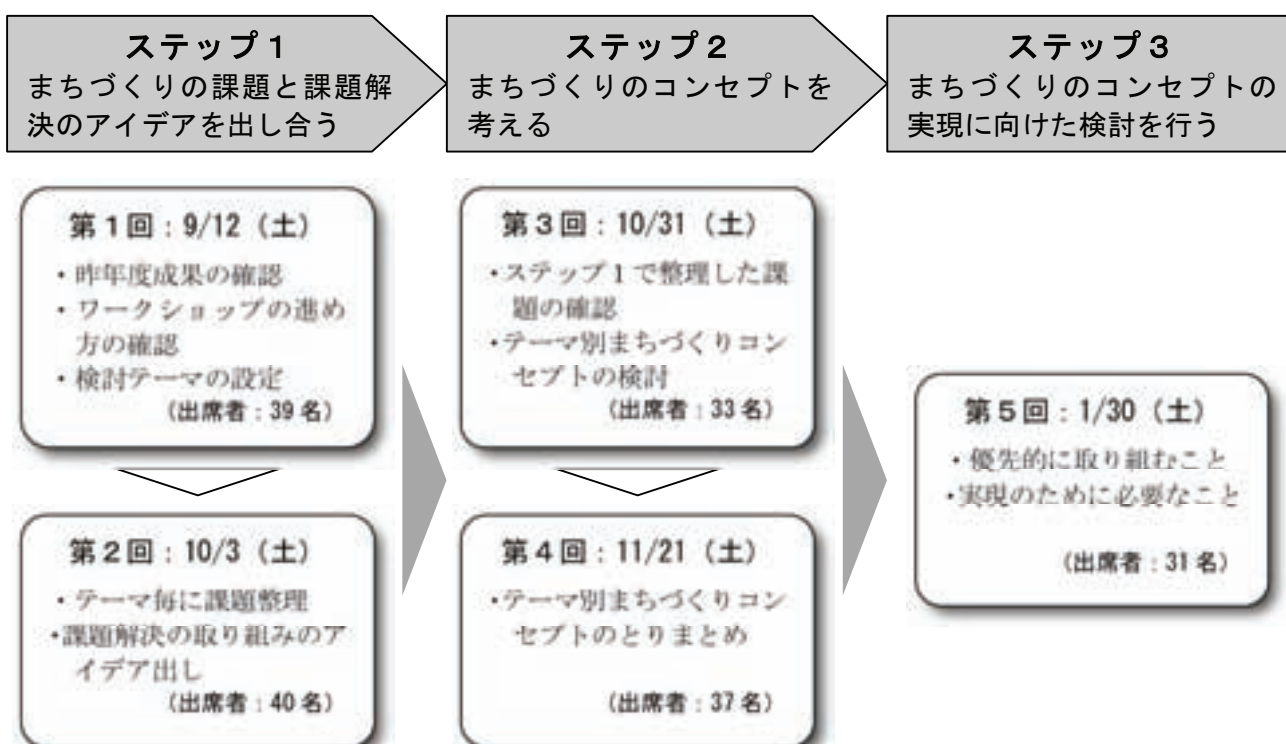
- ・ワークショップ初回（第 4 回意見交換会）に任意のグループに分かれて議論を行い、議論の内容や方向性を踏まえて、7 人～11 人のテーマ別グループを編成した。

【各グループの検討テーマ】

A グループ	: エリア内の交通全般	B グループ	: 大宮駅と街との関係
C-1 グループ	: 多様性のあるまちづくり ^{※1}	C-2 グループ	: 商店街と再開発のあり方
D グループ	: 参道中心のまちづくり ^{※2}		

※1：第 2 回のグループ討議で「商店街と再開発のあり方」から変更した。
 ※2：第 5 回のグループ討議で「氷川とその周辺の活かし方」から変更した。

●検討の進め方



●開催の様子



会場全体の様子



Aグループ



Bグループ



C-1グループ



C-2グループ



Dグループ



最終回（第5回）の全体意見交換の様子



最終回（第5回）の全体意見交換で感想を述べる参加者